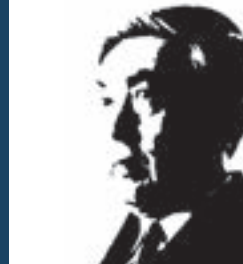


人物で見える 金沢大学の 150年



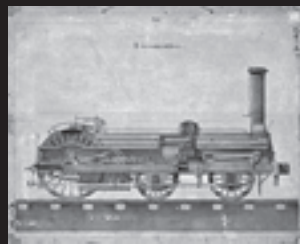
～その伝統と創造～

- 会場 金沢大学資料館展示室
- 会期 平成24年10月15日(月)～11月16日(金)
- 入場料 無料
- 開館時間 10時～17時(入館は16時45分)
土日閉館(但し 11/3・4・10開館)



主な展示品

ヘルツェル外国語教育用掛図・町（附属中央図書館蔵）／モラン機械掛図第 30 図・蒸気機関車（附属中央図書館蔵）／蜀丞相諸葛武侯祠堂碑拓本（附属中央図書館蔵）／加賀藩年中行事図絵・犀川大橋（附属中央図書館蔵）／黒川良安由緒書（金沢市玉川図書館近世史料館蔵）／藤本純吉筆記・スロイス講義録『動物学』（金沢市玉川図書館近世史料館蔵）／マグデブルグ半球（本館蔵）／四高柔道部『南下軍』大正 5 年度・昭和 2 年 8 月～ 3 年 7 月（本館蔵）／南下軍の幟（本館蔵）／北辰会雑誌 96 号マイヨール版（石川県立歴史博物館蔵）／中野重治の窪川鶴次郎宛書簡及び詩稿（石川県近代文学館蔵）／『尋常小学算術（いわゆる緑表紙）』（個人蔵）／紺野義夫氏旧蔵『五万分一地形圖帖』第 13 分冊（石川県立自然史資料館蔵）／Tiger 連乗式計算機（本館蔵）／電子式卓上型プログラマブル計算機（本館蔵）ほか約 50 点。このほかパネル約 100 枚



上：モラン機械掛図第 30 図・蒸気機関車

下：Tiger 連乗式計算機

右：蜀丞相諸葛武侯祠堂碑拓本

特別展企画にあたって

2012 年は、金沢大学の創基とされる加賀藩彦三種痘所の開設から 150 年の記念すべき年に当たります。金沢大学では、4 年前より創基 150 年の記念事業がスタートし、数々の事業を展開してきました。金沢大学の歴史的資料を保管・展示する本資料館も、この創基 150 年記念事業にさまざまな協力をするとともに、関連企画として、3 年がかりで本学の歴史を約 50 年ずつ遡っていく特別展のシリーズを開催してきました。

この記念の年も、残りあと 3 か月を切りました。そうした時期に開催することとなる 2012 年秋の資料館特別展は、この記念の年の終盤を飾るものとなりますので、それにふさわしい企画でなければなりません。そこで誕生したのが、記念事業をやってきた 4 年間のふりかえり、過去 3 年間の特別展の集大成となる 150 年間の通覧展示を行うという展示企画です。特に、この 150 年間の歴史を彩った本学（前身校を含む）出身者・教員等の人物に焦点を当てることで、その歴史を立体的に提示し、ご覧になられた学内外の方々に、本金沢大学の伝統を実感してもらえるのではないかと思います。

金沢大学創基 150 年「講演会・シンポジウムシリーズ」
平成 24 年度 金沢大学資料館特別講演会

北陸出身企業の グローバル化の歩み

講師：コマツ取締役会長 坂根 正弘

日時：平成 24 年 10 月 26 日（金）
13：00～14：30

場所：金沢大学自然科学大講義棟大講義室 A

アクセス
北鉄バス「金沢大学行き」に乗り
「金沢大学中央」バス停下車、徒歩 5 分
JR 金沢駅東口からの所要時間は 40 分



人物で見る金沢大学の 150 年 ～その伝統と創造～

2012/10/15～11/16
(土日閉館 但し 11/3・4・10 開館)

会場：金沢大学資料館展示室（附属中央図書館内） 入場無料

問い合わせ先：金沢大学資料館 TEL 264-5215 museum@adm.kanazawa-u.ac.jp

★本資料館では同時期に、写真展「よみがえる城内キャンパス」（11月1日～11月14日、会場：金沢城公園鶴の丸休憩所）も開催しています

